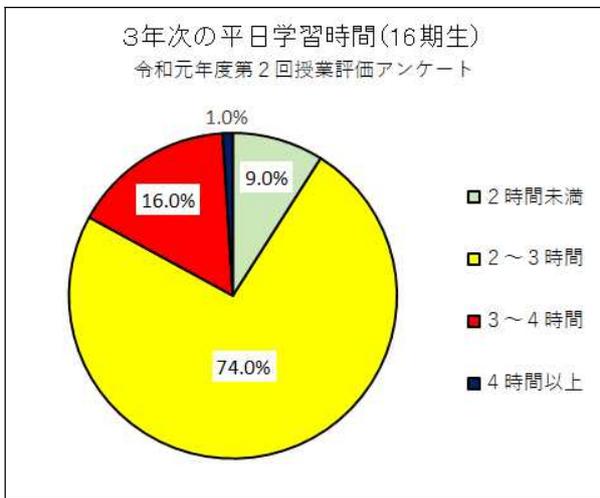
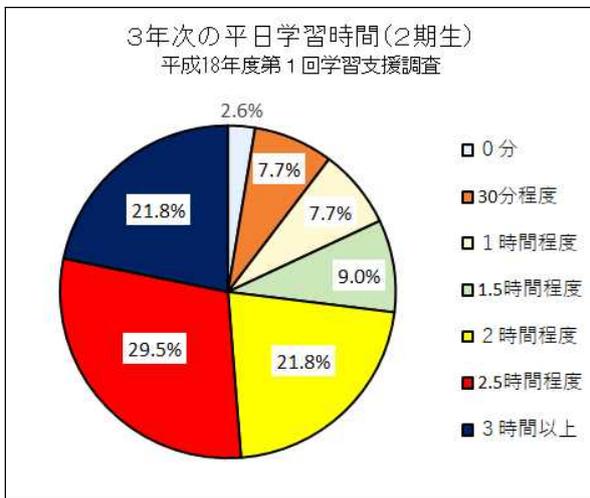


第2ステージの学習方法 ～ 主体的な学習計画 ～

休校が続く中、家庭での学習に困難を感じている人はいませんか？今回は、過去の中等生のアンケート結果を基に、**中等6年間で最もポイントとなる第2ステージ（3，4年次）**における学習方法について考えてみましょう。過去のアンケートは、2期生が4年生のときに県全体で実施した「平成18年度第1回学習支援調査」です。

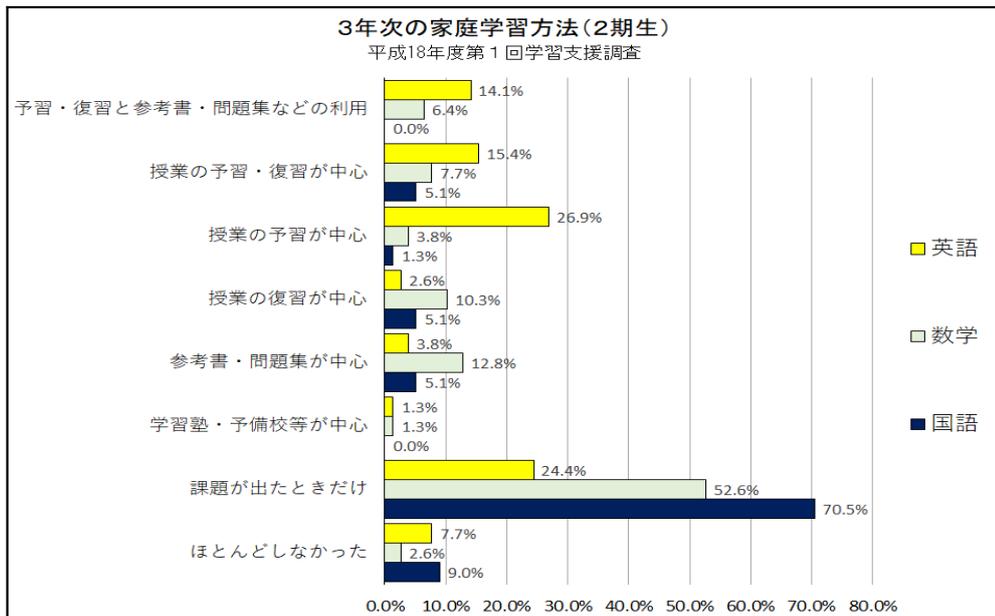
「2時間+α」の意味

平日の家庭学習時間(3年次)について、2期生と16期生の結果を比較してみます。時間の刻み方が異なるので比べにくいのですが、2時間以上の割合を見てみると、2期生が73.1%だったのに対して、16期生は91%。現在の方が、家庭学習に時間をかけている人が多いと言えます。1,2年生のときは、毎日2時間分の課題に取り組んできました。課題をきちんと消化することで「基礎力」が身に付いていくのですが、実はそれだけでは足りません。授業の予習、復習を柱とした自主的な学習が後期課程に向けて必要になるのです。



「受け身」では伸びない

毎日一定量の課題をこなしていく学習方法は、学習習慣の定着や定期考査準備などの限られた範囲の学習には絶大な効果があります。ただ、それだけで満足



していると、4年次以降の全国模試には対応できません。皆さんの学力状況は一人一人で異なっています。全員一律に配付される課題に頼り切ってしまうのではなく、課題を活用しながらも、自分の得意分野、不得意分野をしっかりと踏まえた個別の学習計画が今後必要になってきます。皆さんの先輩たちも、同様のテーマを意識しながら、「学習スタイル」の転換に懸命に取り組み、見事に成果を上げてきたのです。